

第3章 魅力と活力にあふれた産業を伸ばす

◆地域経済の活性化

1. 地域再生事業費(鬼怒川地区)

7,500万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

よりグレードの高い温泉観光地を目指して、景観の向上や観光客の回遊性の向上に取り組めます。また、観光客に優しい歩道整備を行います。

2. 遊休地再生整備事業費(鬼怒川地区)

4億4,644万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

温泉街のイメージを低下させる廃墟^{はいきょ}となった休業ホテルの景観対策が課題となっています。このため、温泉街らしい景観とにぎわいをつくり出し、観光および地区の活性化を図ることを目的に、更地後の遊休地を活用した事業を進めます。

3. 遊歩道整備事業費(鬼怒川地区)

4,300万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

自然環境を生かした遊歩道や大吊橋を整備することにより、観光客の回遊性を高め、観光および地区の活性化を図ります。

4. 温泉掘削事業費(鬼怒川地区)

1億732万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

既存および新規の公共施設に活用する温泉を鬼怒川温泉地内に確保します。昨年度は掘削工事を行いました、今年度は動力装置や中継施設、配管整備などを行います。

5. 地域再生事業費(川治地区)

4,900万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

中核的な観光拠点施設やアクセス向上につながる施設を整備します。

- 川治温泉薬師の湯および周辺の整備
- 川治湯元駅公衆トイレ・エレベーターの整備

6. 遊休地再生整備事業費(川治地区)

8,306万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

廃業ホテルを取り壊した後の更地を購入し、薬師の湯整備事業や河川遊歩道整備事業と連携した観光拠点施設を整備することにより、観光客の回遊性を高めるとともに、地域との交流促進を図ります。



遊休地再生整備事業(鬼怒川地区)

今年度は、廃墟となったホテルの跡地を植栽などにより整備します。



遊歩道整備事業(鬼怒川地区)

大滝河川遊歩道の整備を平成17~19年度で行い、観光客の回遊性向上を図ります。



地域再生事業(川治地区)

川治温泉薬師の湯および周辺を整備し、薬師の湯を中心とした観光振興と地域の活性化を目指します。

7. 遊歩道整備事業費(川治地区)

1,000 万円 地域再生推進課(藤原総合支所)

自然環境を生かした河川遊歩道を整備することにより、観光客の回遊性を高めるなど、地区内の整備を一体的に進めます。

◆観光の振興

1. 観光宣伝費

7,077 万円 観光課

市の豊富な観光資源やすばらしい自然を全国にPRし、市のイメージアップを図るとともに観光客の誘致を推進します。

2. 銅山観光事業特別会計

8,347 万円 観光経済課(足尾総合支所)

江戸時代から昭和時代にかけて働いた人々の姿や歴史、鉱山の仕組みを知ることができる足尾銅山観光の運営費です。

3. 観光協会補助金

1 億 6,862 万円 観光課

観光協会では、市の観光資源のPRやさまざまな誘客イベントを行っています。これらの活動に対する費用を助成します。

4. まちづくり交付金事業費(世界遺産・門前町地区)

750 万円 観光商工課(日光総合支所)

歴史的・文化的資源の保全や、観光と地場産業の連帯による街なか商業の活性化を、市民や来訪者とともに進めます。

5. まちづくり交付金事業費(清滝地区)

100 万円 観光商工課(日光総合支所)

清滝地区において、商業の再生と新たな商業展開による活性化を図ります。

6. 「産業遺産」と「環境教育」によるわがまち自慢事業費

250 万円 観光経済課(足尾総合支所)

ガイドや関係団体と連携して、足尾地域の産業遺産を活用した観光プログラムを策定し、旅行商品を作り上げます。

7. 観光振興開発推進本部活動費

220 万円 観光課

関係機関や団体と連携し、市の豊かな観光資源を生かした施策を総合的に企画、推進します。



日光そばまつり

今年度も、11月1日(木)～4日(日)に日光だいや川公園で開催する予定です。



足尾銅山観光

足尾銅山観光の入り口です。平成17年度には、約145,000人が訪れました。



中山間地域等直接支払交付事業
落合地区(今市地域)の長畑西沢で行われている稲作の様子です。



基盤整備促進事業
昨年度、今市地域の板橋地内に完成した農業用の用排水路です。

8. フィルムコミッション調査事業費

140 万円

観光課

映画、テレビ番組などの撮影を誘致し、市のイメージアップや観光客の増加を図るため、撮影適地の調査・研究を行います。

◆農林業の振興

1. 農業用機械・施設等導入事業費

873 万円

農林課

生産組織が共同で利用する、そば用農業機械や6条刈り大型コンバインの導入に対して、費用の一部を助成します。

2. 中山間地域等直接支払交付事業費

1,793 万円

農林課

平坦地と比べて生産条件が不利な地区に対して、平坦地との生産性の格差分を一部、生産者へ助成します。

3. 森林組合振興費

3,170 万円

農林課

森林組合に対し、新規作業員の確保や、組合運営を円滑に行うための資金の一部を助成します。

4. 地域農業後継者対策事業費

44 万円

農林課

農業従事者の減少が見込まれる中、次代の当市農業を担う農業後継者の活動や研修費の一部を助成します。

5. 基盤整備促進事業費

4,505 万円

農林課

農業用の用排水施設を整備、改修することで、生産性の向上と生産環境の改善を目指します。今年度は、今市地域の^{かしきわ}檜原地内と杉ノ沢地内の用排水路や^{あんきよ}暗渠排水の整備を行います。

6. 県単農業農村整備事業費

6,065 万円

農林課

県の補助を受けて、狭い農道の拡幅舗装や老朽化した農業用の用排水施設を整備、改修します。

7. 日光市農業公社交付金

216 万円

農林課

日光市農業公社の運営費の一部を助成します。

8. 農地・水・環境保全向上対策事業費

1,260 万円

農林課

農地や水を守るのに効果の高い地域ぐるみでの共同活動や、環境保全に向けた営農活動を支援します。

9. 市単土地改良事業費

2,569 万円

農林課

各地域団体が主体となつて行う農道やかんがい排水路整備に対して、必要経費を助成します。さらに、農道やかんがい排水路などに使用する砂利やU字溝などの資材を支給します。

10. 市営ふるさと農道緊急整備事業費

1 億円

農林課

ほ場整備事業地内の農道のうち、補助幹線農道路線(11 路線)の舗装工事を行います。

11. 県営ふるさと農道緊急整備事業費

2,640 万円

農林課

ほ場整備事業地内の農道のうち、幹線農道路線(2 路線)の舗装工事を行います。

12. 県営ほ場整備事業費

8,399 万円

農林課

農地を整形し、農道や用排水路を整備することで、生産性の高い農地を造ります。コストダウンや担い手の育成、効率的な農業経営を図り、活力ある農村環境を目指します。

13. 治山林道事業費

2,285 万円

農林課

林道の維持管理や損害賠償保険などの費用および経営作業道の整備費用です。

14. 県単林道改良事業費

702 万円

農林課(日光・藤原総合支所)

林業生産基盤の整備を図るため、市が管理する林道のうち、表男体線の舗装工事および平沢・芹沢線の改良工事を行います。

15. 森林整備地域活動支援交付金事業費

2,060 万円

農林課

森林の多面的機能が十分に発揮されるよう、森林施業を行うのに不可欠な地域活動(現況調査、歩道整備など)を支援します。



県営ほ場整備事業

ほ場整備事業により整備された塩野室地区(今市地域)内の用排水路です。



県単林道改良事業

県の補助を受けて実施する県単林道改良事業。写真は、整備中の林道表男体線です。



野生獣害防止対策事業

イノシシを捕獲するわなの設置講習会の様子です。



地産地消の推進

市では、市内の店で地元農産物を取り扱ってもらうなど、積極的に地産地消に取り組めます。

16. 県営林道事業費

1,800 万円

農林課

県が実施する県営林道事業(林道改良、安全施設整備)に対して、市が負担金を支払うものです。今年度は、今市、日光、藤原、栗山地域内の計16路線を予定しています。

17. 野生獣害防止対策事業費

402 万円

農林課

野生鳥獣(トリ、イノシシ、クマ)からの農林産物被害を防ぐため、各地域の猟友会に依頼し、駆除などを実施します。特に、イノシシを寄せ付けない地域づくりに取り組みます。

18. 特定獣適正管理事業費

912 万円

農林課

野生獣(サル、シカを対象)からの農林産物被害を防ぐため、今市、日光、藤原地域では地元猟友会に依頼し、地域巡回や追い払いパトロールを実施し、市全域では駆除などを実施します。

19. 活力ある中山間地域づくり事業費

75 万円

農林課

中山間地域において、イノシシなどの野生鳥獣からの被害を防ぐため、電気柵を設置する経費の一部を補助します。

20. 地産地消推進事業費

60 万円

農林課

農産物の地産地消を推進するため、地元農産物の取扱店や地元食材を使った料理をPRするための費用です。地元農産物の良さを認識してもらうことで、消費の拡大を図ります。

21. 流域公益保全林整備事業費

418 万円

農林課

森林の有する水源かん養機能や、山地災害防止機能の維持増進を図るための森林施業に要する経費の一部を補助します。

◆商工業の振興

1. 工業導入促進費

1 億 2,440 万円

商工課

市内に工場の新設や増設を行う企業を支援します。初年度は助成金3,000万円を限度額とし、次年度からは奨励金として10年間で総額7,000万円を限度額に支援します。

2. 中心市街地活性化推進事業費

623 万円

商工課

(株)オアシス今市では今市地域中心市街地の商業経営基盤を安定させるため、買い物客用の駐車場を確保しています。その無料駐車場の運営費用を助成します。

3. 中心市街地活性化事業費

54 万円

都市計画課

中心市街地を活性化させるため、今年度から来年度にかけて新たな中心市街地活性化基本計画を策定し、ハードおよびソフトの両面から実効性のある事業を展開します。

4. 商工団体育成費

2,008 万円

商工課

商工業の活発な活動が展開できるように、日光商工会議所や今市商店会連合会、日光市民朝市実行委員会、日光市工業連絡協議会などの団体組織の強化を推進します。

5. 商工会育成事業費

370 万円

観光経済課(足尾総合支所)

地域の商工業振興や会員の起業対策、資金金融対策、また青年部、女性部の活動支援など、商工会の育成を行います。

6. 金融対策費

6 億 1,367 万円

商工課

中小企業者の経営安定と中小企業の振興を図るため、中小企業者が事業に必要な資金を容易に調達することができるよう、中小企業振興資金の融資を行います。

◆勤労者福祉の拡大

1. 勤労者住宅資金貸付金

6,600 万円

商工課

勤労者の皆さんが市内に住宅を建築する際、最高 800 万円までの資金を融資します。

2. 勤労青少年ホーム運営費

191 万円

中央公民館

35歳以下の働く若い皆さんを対象とした各種講座やイベントを開催し、充実した社会生活を送ることができるようサポートしていきます。



中心市街地活性化推進事業

今市地域の市街地大通り沿い、オアシスセンタープラザ近くにあるオアシス無料駐車場。買い物などの際にご利用ください。



日光市民朝市

市民朝市としては、県内で最も古い歴史があります。今市地域内のアーケード商店街で開かれ、約25店が出店。毎回、多くの買い物客が訪れます。



勤労青少年ホーム(サクシードにっこう)

料理教室のひとつ。ほかにも、さまざまな講習会や教室を企画しています。